

# 堺自然ふれあいの森

## ニュースレター 第29号

発行：平成26年10月 ふれあいの森パートナーズ（指定管理者）



### 指定管理者が変わりました！

堺自然ふれあいの森では、この4月より開園当初から携わっている（株）生態計画研究所と、開園前からボランティア活動を行って来たNPO法人いっちゃんクラブが「ふれあいの森パートナーズ」として指定管理業務を行うこととなりました。



#### ふれあいの森のこれまでのあゆみ

平成3～4年	堺市が墓地拡張用事業用地として取得
平成12年	堺市が環境保全へと方向を転換
平成13年6月	（仮称）自然ふれあいの森 基本計画・設計に着手 「森の学校」がテーマとなる
平成13年8月	（仮称）自然ふれあいの森管理運営に関する検討会を設置
平成14年	（仮称）自然ふれあいの森管理運営準備委員会を設置 (公募市民30名)
平成17年5月	堺自然ふれあいの森委員会を「いっちゃんクラブ」に改称
平成18年4月	開園（指定管理者制度導入）「いっちゃんクラブ」は市民ボランティアとして活動
平成25年8月	来園者20万人達成
平成26年4月	指定管理3期目。（株）生態計画研究所とNPO法人いっちゃんクラブが担う。



### 新館長：後北さんに4つの質問！

#### ①この森に初めて足を踏み入れたときの第一印象は？

小学生の夏休みに、宝塚の西谷にある実家で毎日虫捕りや川遊びをしたことを思い出し、懐かしさと親しみを感じました。でもよく林をみてみると、西谷では虫捕りをした木がクヌギだったのに対して、ふれあいの森で樹液を滲ませているのは大きなコナラです。構成されている植物の種類が異なるようです。

#### ②この森でどのような活動をしていきたいですか？

自然と親しむ機会がどんどん減っている子どもたちが、虫をこわがったり、されなかったり、また自然に興味を持つなかつたりすることはある意味避けられないことです。そのような子どもを持つ親とともに、自然への興味と感心が持てるように、このふれあいの森の資源を最大限生かした講座や観察会、イベントなどを通じて、伝えていけたらと思います。またこの森の資源が絶えることの無いよう、市民とともに維持管理活動を推し進めてまいりたいと思います。

#### ③来園者に気を付けてもらいたいことは？

森の中を自由に散策できるところはこの森の良さもあるのですが、植物の盗掘や、材割りの跡が見られ残念です。動植物は持ち帰らない、掘り起こした土や落ち葉・動かした朽木などは必ず元に戻す・・・という基本的なルールを指定管理者がいろんな機会を見つけて教えていかなければなりません。

#### ④4月からは、館長になられたわけですが、意気込みを聞かせて下さい。

私一人の力では何もできません。パートナーズの方々や、各種団体、ボランティアさんや、企業、堺市さん、イベントの参加者らのお力を借りしながら、堺市の財産であるふれあいの森を、市民の学習の場、憩いの場として育てていきたいと思います。



### NPO法人いっちゃんクラブ理事長：福田さんからのメッセージ

NPO法人いっちゃんクラブの前身は、平成14年に公募された「（仮称）自然ふれあいの森管理運営準備委員会」である。活動の当初から「ふれあいの森」の管理運営に携わることを前提として準備を進めていたが、開園時に指定管理者制度が導入され、我々は市民ボランティアとしてサポートすることとなった。それから8年、必要なノウハウを積み重ねてようやくこの3期目の指定管理者として参画することができた。「ふれあいの森」は来園者や市民向けの「森の学校」として、田畠での栽培・収穫や森の手入れなどの自然の循環を学ぶのに適した活動環境にある。自然体験イベントの企画・実施や新規の市民ボランティアの育成がこれからの主な業務になるが、さらにふれあいの森が南部丘陵の保全活動の拠点になるべく、里山保全のリーダーや活動グループの育成を目指し、一段と進化した市民協働を堺市から発信していきたいと思っています。

# 上半期イベント実施報告

4



おはなしかんさつ会  
4月は「おたまじやくし」。頭からカエルに成長するまでの紙芝居を見た後、池や沼でオタマジャクシやカエルを観察しました。

◆青のふれあい森まつり  
夜の1番最初に開催するイベントです。しかし森のコナラ木に打ち付けたり、森を散策して、森の森を体験しました。

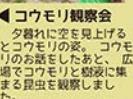


7

ジャガイモ掘りと丸太切り体験  
みんなで大きな丸太をノコギリで切ったり、畠で農業のお話を聞いた後にジャガイモ掘りをしました。



◆コウモリ観察会  
夕暮れに空を上げるコウモリの姿。コウモリのお話をしたあと、広場でコウモリと夜間に集まる昆虫観察しました。



5



野鳥観察  
若葉が芽生えると森では野鳥のさえずりが聞かになります。今でもシジュウカラやソロハゲインスなどは毎年見ています。



◆茶摘みと茶様体験  
森の入口にある茶畠で、新芽を摘み取り緑茶を作りました。火にかけてみると、とてもいいお茶の香りが辺り一面に漂いました。

8

◆クラフト教室  
原則、毎月第1日曜日開催。小枝木の実などを使って、見本を参考に、思い思いに作っていました。



4~6才の親子で森あそび  
毎月第4日曜日開催。今は奥山の櫻むぎザリガニを探しました。足はどちらから出てる? 鮎の通りは?などじっくり観察しました。



6



大人のための自然観察会  
年4回開催している大人限定の観察会。今回は樹皮を観察して、樹皮や葉っぱの特徴をじっくり観察しました。



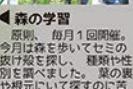
◆田植え体験  
田んぼで田植えをしました。苗と耕すの届から自分でやってみたいと喜んでいます。田んぼには足を取られながらも、みんな一生懸命働いていました。

9

◆植物観察  
野原や森の中で、様々な草花を観察した後、色々な形のひっつきぬしを使って草花遊びを楽しみました。



◆森の学習  
原則、毎月1回開催。今は森を歩いてセミの抜け殻を貯め、種類や性別を調べました。葉の裏や根元について探すのに苦労しました。



新米

レンジャーの1日に密着!

言かな自然を残したくてふれあいの森にやってきました! 地球と生物の繋がり成す不思議な世界をより多くの人に伝えたいです!!



① 8:30  
朝礼

本日のスケジュールの確認や、作業・個体奉入などの打合せを行っています。



② 16:30 ~ 18:00  
館内展示の入れ替え

今日は日没で見てくださる方達の感想がなかったので、それを改めてお伝えしました。



③ 15:00 ~ 16:30  
国内修理

国境の階段補修や薪刈りもれほの仕事をです。来園者に気付かなければ作業を行います。

④ 14:30 ~ 15:00  
ホームページの更新

日々の活動をfacebookに載せたり、月々のイベント情報を更新しています。



今日も1日お疲れさま~

⑤ 18:00  
ぼくの他にも、森の館には昆虫や哺乳類、野鳥に詳しいスタッフがいます。(あつ、彼は植物が大好きです) 森の中で見つけた生きものについての質問や、森の歩き方など、気軽に聞いてくださいね。



⑥ 8:35 ~ 9:20  
朝の巡回

階段が壊れているないか、④地図に記載がある所所がないかななど、毎日点検しています。



⑦ 9:30 ~ 10:00  
学校受入準備

学校がある前にエコやクイズラリーの春操の豆まきなどを準備します。



⑧ 10:00 ~ 12:00  
学校対応

ただ今、クイズラリーの答え合せを中心とした問題正解しなかな? 今日は豆まきを後で答え合せさせました。



⑨ 13:00 ~ 14:30  
イベントの企画・準備

来季の目標に沿って実しで実行するようないイベント企画を進めています。旅行会社の連絡ですが結構多いです。



## H26年度 森の整備計画

### 1 アカマツ再生区の整備



今年度も引き続き、アカマツ再生区の落ち葉と下草刈りを実施しました。整備前は、一面コナラやリョウブなどの高木とモチツヅリなどの低木林に覆われていた斜面でしたが、現在は落葉の下からアカマツの実生が生えるまでになりました。



▲アカマツの苗木の植栽

落ち葉かき

### 2 雜木林の整備



このエリアも整備当初は、シダやネズガが生い茂り、中高木層が樹幹を塞いでいましたが、現在は斜面が見通せるまでになりました。しかし、まだ打ちこみや伐倒等の作業が必要なため、今後も整備作業は続きます。

▲下草刈りと倒木処理

六例:

■常緑樹林

■落葉樹林

■ササ・ススキ再生区

■落葉樹主導林

■実生・落葉林の複合林



柿の実が赤く色づき始め、百舌鳥の高鳴きが響く「堺自然ふれあいの森」。私どもが指定管理者としてお手伝いを始めて、2期8年が経過しました。昨年は、利用者数が開園からのべ20万人に達し、多くの市民の皆さんに、森の体験を楽しんでいただきました。

その森を里山として整備し、豊かな体験の場を提供しているのは、任意団体の発足から、まもなく10年目を迎える「NPO法人いっちゃんクラブ」の皆さんです。森の整備を評価し、将来像を検討する基礎となる調査活動。背丈を越えるネザサの刈り払い、雑木林の下刈りなどの管理活動。稻作や畑づくりなど、里山の景観を整える農活動。自然素材を使った創作体験などの環境学習活動など、年間では延べ2400人を超える会員の皆さんのボランティア活動によって、ふれあいの森が支えられてきたことに、心から感謝の意を表したいと思います。

そして、この春からは3期目がスタート。市民ボランティアの精神と活動を、森の運営に生かすために、生態環境の保全と環境教育を専門とする社会的事業体である生態計画研究所と、地元の市民ボランティア団体であるNPO法人いっちゃんクラブが、パートナーとなり、森づくりや市民サービスの提供に取り組むことになりました。これまで森を支えてきた会員のボランティア活動は、指定管理者の立場となってして頂くことになりますが、一人ひとりが市民ボランティアであることに、変わりはありません。それ以上に、これからは「市民ボランティアが市民ボランティアを育成する」新たな時代が始まります。稻作、畑づくり下刈りなど、森のイベントや整備に参加する市民、企業、団体等の皆さんを、協働の担い手として受け入れ、市民ボランティアとして育てていくことは、同じ市民目線のボランティアであればこそ、充実したものになるのではないでしょうか。

これからの5年間、堺市では南部丘陵の保全に向けて、参画する市民や企業ボランティアの育成が課題となり、「堺自然ふれあいの森」は、その活動拠点としての役割を果たすことが求められています。ふれあいの森から南部丘陵の森へ、幅広い市民が主役の森づくりを、NPO法人いっちゃんクラブの皆さんと共に、支えていきたいと願っています。



●○●○●○●○ お問い合わせ ●○●○●○●○●

## 堺自然ふれあいの森 森の館

〒590-0124 大阪府堺市南区畑1740番地

TEL 072-290-0800 FAX 072-290-0811

ホームページ <http://www.sakai-fureainomori.jp>

発行: 堀自然ふれあいの森 ふれあいの森パートナーズ(指定管理者)

\*ふれあいの森パートナーズは、株式会社生態計画研究所とNPO法人いっちゃんクラブの連合体です。



## 交通案内

お車の場合は  
「堺公園墓地」を  
を目指してお越し下さい。

